

弊社が所在している市川三郷町は古く 13～14 世紀の頃から約 1200 年もの歴史があり、市川和紙の製造が盛んでした。手漉きの技術から始まり、昭和 30 年代に機械漉きへと技術革新をし、現在もなお障子紙の生産量日本一の地域となっています。

当地の市川和紙は、美人の肌のように滑らかで白く美しいのが特徴とされ、「肌吉紙」（はだよしがみ）と呼ばれ、武田信玄の時代や武田家滅亡後も徳川家の御用紙として幕府に献上されていました。

私たち「金長特殊製紙株式会社」は、歴史ある地で長年、障子紙の製造をしてきました。障子紙は平安時代から日本の暮らしに、合理的かつ情緒的に使われてきた素材です。しかし、この素晴らしい和紙を使用した間仕切りも、時代と共に、住宅に使用されることが少なくなってきました。洋風建築、ローコスト住宅の台頭で和室を取り入れる環境が減りつつあります。

日本の伝統美や様式美を現代の生活にも継承できるよう、和紙に備わった機能性の認知、意匠性や品質の良い製品を提供することによって多くの人々に和のもつ安らぎの空間を提供できるのではないかと、強く可能性を感じています。

用途提案を続ける中で「糸落水ガラススクリーンシート」が 2019 年 8 月 **makuake** クラウドファンディングで **732%**の達成率で成功しました。素材開発から 3 年。素材提案としては良い反応をいただいていたのですが、商売に繋がるのには難しい時期を過ごしてきました。用途をより具現化する事で可能性を見出し「糸落水ガラススクリーンシート」の成功へと一歩、進むことが出来ました。この素材には多くの潜在能力があり、アイデア次第で、さらなる商品開発の可能性があります。伝統工芸に携わり地域貢献をしながら、自分で考えた商品のプロデュースをしてみませんか？開発から販売まで一緒にブランドを磨き上げていきましょう。

応募動機

素材提案をするなか、多くの方々からご興味を頂くことをきっかけに、和紙の持つ長い歴史や尊い日本文化を後世に残していくために「糸落水@itorakusui」を立ち上げました。今では国内の展示会をはじめ、海外の展示会にも出展し、世界にも発信し始めています。また、第二弾・第三弾と新たなクラウドファンディングにも挑戦し、たくさんの方の手にお届けできるように取り組んでいます。

実際に新ブランドを管理している人材は 1 人で行っており、今後の新しい展開を考えた時、新しい感性や力を加えることで、イノベーションが起き、本社のみならず地域の活性化への新しい道も開けていくのだと感じています。ぜひ一緒に本社のニューブランド及び市川三郷ブランドを作りあげ PR していける方を募集します。

国内外に和紙の魅力を伝えられる方、自分の感性をカタチにされたい方、会社と一緒に成長し、海外にも通用するブランドに育てていきましょう。あなたのアイデアをぜひカタチにしてください。

勤務会社

金長特殊製紙株式会社

(山梨県西八代郡市川三郷町市川大門 2808)

勤務地

市川三郷町内 (この限りでない場合もあります)

【最寄駅】

身延線 芦川駅 より徒歩 10 分

身延線 市川本町駅より徒歩 10 分

【業務内容】

- (1) 商品のデザイン (プロダクツデザイン、パッケージデザイン等)・企画
- (2) WEB 管理、SNS での発信
- (3) 展示商談会の出展等 販路開発、メール対応
- (4) 工場横 店舗企画、企画運営
- (5) ワークショップの企画運営
- (6) 手漉き和紙 研修
- (7) 地域の活性化事業の協力